

議会のトピックス

TOPICS

こんなことが決まりました

委員会の報告

ここが聞きたい 13人が一般質問

特別委員会視察報告・活動報告

議会報告会・議場コンサートを開催しました

議長交際費・政務活動費の公表

バラ議会を開催しました



第2回定例会 **バラ**議会を開催

平成28年第2回可児市議会定例会を6月3日から6月29日の27日間の会期で開催し、平成28年度一般会計補正予算や税条例の一部改正など、14件を審議しました。

今議会は平成27年第3回定例会において可決した「6月定例会をバラ議会と称する決議」に基づき、議場をたくさんのバラで飾るとともに、議員は市内の折り紙教室のみなさんのご協力による折りバラを胸につけて、バラ議회를盛り上げました。



市民にご協力いただき
折り紙でバラを作っていました

提出された議案と審議結果

第2回定例会に提出された議案は、承認5件、予算関係1件、条例関係5件、人事1件、委員会提案2件で、すべて原案のとおり承認・可決されました。



番号	件名	結果
承認	3 平成27年度一般会計補正予算（第5号）の専決処分	◎
	4 行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正の専決処分	◎
	5 税条例等の一部改正の専決処分	◎
	6 都市計画税条例の一部改正の専決処分	◎
	7 国民健康保険税条例の一部改正の専決処分	◎
議案	40 平成28年度一般会計補正予算（第1号）	◎
	41 定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の制定	◎
	42 税条例等の一部改正	○

番号	件名	結果
議案	43 都市計画税条例の一部改正	◎
	44 体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	◎
	45 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	◎
	46 人権擁護委員候補者の推薦	◎
発委	1 議会改革特別委員会の委員定数	◎
	2 市議会委員会条例の一部改正	◎

【結果の表示記号】◎全会一致で承認・可決
○賛成多数で可決

第2回定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件等は、全会一致で可決しています。

	大平	田原	高木	渡辺	出口	伊藤	板津	勝野	天羽	澤野	酒井	川上	野呂	川合	山田	山根	中村	伊藤	富田	亀谷	可児	林
	伸二	理香	将延	仁美	忠雄	壽	博之	正規	良明	伸	正司	文浩	和久	敏己	喜弘	一男	悟	健二	牧子	光	慶志	則夫
議案第42号 税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	●	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長（川合敏己）は、採決に加わらない

こんなことを審査しました

予算決算委員会

平成28年度一般会計補正予算について、審査しました。

Q 歳入補正の国庫補助金である個人番号カード交付事業補助金4757万円の交付基準は何か。

A 市町村の住民基本台帳の人口按分で国が算出する。

Q 3000万円の増額歳入補正を行うふさと応援寄付金だが、返礼品と返戻率は。

A 可児市の魅力をPRできる返礼品の種類を充実し、WEBサイトを活用し寄付を募っている。今年度から、返戻率を寄付金額の1割から3割に増やした。

Q 景観まちづくり推進事業の事業採択期間は単年度か。

A 久々利城周辺の里山整備で、地域ではできない急斜面を業者に委託し整備するもので、今年度でおおむね終了する。

総務企画委員会

定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例ができました

Q 以前あった勸奨退職制度と今回の制度の違いは何か。

A 透明性を高めることを重点に制度を改廃し、基本的に応募をするのも、取り下げるのも職員個人の自発的な意志に委ねることを明確にした。

法人市民税の税率が下がります

地方税法の改正に伴う条例改正を審査しました。

Q 市税収入に影響が生じるのはいつ頃からか。

A 法人によって事業年度が違うので一律にはいえないが、まず影響が開始するのが、平成29年度事業分からで、平成30年度からは、ほぼ全ての法人税割の収入に影響してくる。

建設市民委員会

体育施設（馬事公苑を除く）に指定管理を導入します

平成29年4月から市内体育施設（馬事公苑を除く）に指定管理を導入するにあたり、条例改正を審査しました。

Q 体育施設の利用申し込み方は変わるのか。

A 使用の許可や利用料の支払い先が指定管理者となる。これまで口座振替等で利用料を支払っている場合、変更の手続きが必要となる。

Q 馬事公苑を指定管理の対象から除いたのはなぜか。

A すべての体育施設を指定管理にするとというのが一番効率的、合理的な経営だが、事前調査の結果と馬事公苑の管理の専門性を考慮し、今回は見送った。

教育福祉委員会

小規模保育事業所の避難設備に関する基準が変わります

平成28年1月に建築基準法施行令が改正されたことに伴い、4階以上の小規模保育所に関する避難設備に係る一部文言を改正する条例を審査しました。

Q 本市には今のところ存在しないが、4階以上に小規模保育所があった場合に、子どもたちをどのように避難させるのか。

A 建築基準法による排煙設備によって煙が適切に処理される間に、ふだん行っている避難訓練の要領で、子どもたちを無事に外に退避させることになることを考える。

一般質問

13人が市政を問う

一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は、議員にお尋ねください。

また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っていますので、一般質問の様子を映像にてご覧いただけます。



携帯電話やスマートフォンで下記QRコードを読み取っていただくと簡単に動画サイトに接続できます。



指定避難所の現状と今後の展開は

Q 熊本地震では、避難所の耐震化は構造部材のみならず、非構造部材まで進めなければ、避難所としての利用がでなくなる現実があった。本市の指定避難所の耐震化は当然だが、非構造部材の耐震化までしっかりと整っているか。

A 脱落によって重大な危害を加える恐れのある特定天井については、平成27年度に調査を実施し、9箇所で改修の必要が判明したので、順次対応していく。市内14公民館の体育館・ホール等の舞台に設置されているバトン、緞帳等は年1回点検を実施している。

婚活への積極的な取り組みを

Q 少子化問題解決の糸口は生涯未婚者の増加を抑えると

いう観点から、婚活について、本市でも積極的に取り組んでみてはどうか。

A 昨年策定した総合戦略基本目標で「結婚への希望をかなえるため、出会いの場に関する情報提供や民間が実施する婚活事業への支援を行う」としている。行政が主体となっては行わないが、助成金の活用を含め民間と連携し、側面から応援していく。



さわの しんのすけ 澤野 伸



様々な婚活イベントを紹介しています

観光グランドデザインの 取り組み



ただお 忠雄
おのだ ただし

Q 観光来訪者の交通アクセスについて、公共交通機関による来訪者の交通確保はどのように図るのか。

A 交通アクセスの整備は重要な事項と捉えているが、現在は観光グランドデザインに掲げる内容を地域の皆さんの参画を得て、いかに実現していくかに力を注いでおり、今後来訪者を迎える環境が整った時点で、交通アクセスについても整備していきたいと考えている。

本市観光産業を成功させるために

Q 本市観光グランドデザインは大変壮大な計画で、実現するにはプロジェクトチームのような組織を設けて取り組む必要性を感じる。市の考え



国内観光産業市場
出典：国土交通省 観光庁HP

A は。当然行政だけでなく市民・企業・行政の三者がそれぞれの役割を担い、実現に向かい協働していくことが成功への条件と考える。

美しい山林保全の未来



よしあき 良明
あもう 天羽

Q 県の森林環境税を活用し、市内通学路の垂れ木など危険箇所や環境美化に対応していきたい考えは。

A 環境面では既に特定外来生物オオキンケイギクの防除やバイオトイレの設置経費等に充当している。一方、個人が所有する山林の危険箇所の解消などについては、里山林整備の一環という位置づけがあり、市民にとって有益性がある場合には可能性がある。

樹を宝に捉える教育の充実を

Q 山を美しく残すことは、未来の子ども達に豊かな資産を残すことになる。本市の自然環境教育の実情は。

A 里山などの近隣の自然に親しみ、山の魅力や自然の大

切さを学ぶ多くの小学校がある。例えば、南帷子小では、わんぱく山でブランコ等遊具の製作。旭小は、笑顔の森で、グループ活動や椎茸づくり。土田小は、鳩吹山で森林の植物を学び、カタクリの種まきをする。兼山小では、古城山でオリエンテーリング。このように、地域の方々のご協力を得ながら、樹木を使った森での遊びを通じて環境への関心を高めていく。



未来の子どもに残したい豊かな自然

ドローンの対応と取り組みは



おおひら せいじ
大平 伸二

Q ドローンは災害など色々な分野で成果を挙げている。今後、ドローン対応の総合的部署が必要になると思うが、考えているか。

A 現在、関係各部署で対応をしており、専門部署を新たに設置する重要性・緊急性は今のところないと考える。今後の状況を見て必要に応じて考えていく。

今後のドローンの活用は

Q 航空法は整備されたが、ドローンの利用について本市管理の公共施設での対策、対応はどの様になるか。公表はどのようにするのか。また、本市の各部署でドローンの活用は考えているか。民間の協力についてはどうか。

A 市管理の公共施設でのド



様々な分野で利用可能なドローン本体

ローンの飛行は禁止としている。しかし色々な分野で利用できるので一定の許可、ルールをクリアしている利用者には、安全確認の条件を整えれば施設利用の許可を出して対応する。公表はホームページ、広報の掲載を考えていく。ドローンの活用は市職員での運用は考えていない。必要に応じて民間の協力を得たい。

3～5歳児の保育量の確保は



とみだ まきこ
富田 牧子

Q 国が発表した保育園待機児緊急対策は、保育士配置や部屋面積の基準が厚い自治体に、基準を引き下げることや小規模保育所の定員を広げ、3歳児でも利用継続できるようにという規制緩和のひどい内容だ。本市では、来年度新保育園が開園するが、待機児解消は可能か。

A 本市では国基準を上回る基準にはなっておらず、また、小規模保育の定員増も予定していない。3～5歳児は、本年4月1日で保育園入園児が896人で、計画値を21人上回っているが、来年開所予定の認可園の3～5歳児の定員は60人なので、量の確保は当面の間、可能。

市臨時職員保育士の賃金アップを

Q 現在、保育士の給与は全産業平均より月額11万円も低い。保育士不足を解消するためにも、大幅な賃上げが必要だ。

A 本年度より、月額3800円増額した14万9600円が臨時職員保育士の賃金だが、今後も、国の動向や市内私立保育園の賃金の額を検証しながら、見直しを図っていく。



今後の必要保育量を
定めた事業計画書

可児駅周辺事業の今後は



かわかみ ふみひろ
川上 文浩

Q 可児駅前街路事業と市道117号線改良事業の状況は。

A 可児駅前線街路事業は平成30年度の完成を目指し、事業を行っている。市道117号線は、幅員11メートルの道路を計画している。事業効果は、可児駅西地区の住居地域としての土地利用の推進や通学路や駅利用者の安全確保。今広踏切を閉鎖する代替機能として、可児駅西地区へのアクセスの向上を図る。

Q 総合会館分室の跡地および繭検定所跡地の利用は。

A 非常に重要な場所だ。色々な市民の考えがあるが、まずは駅前をしっかりと整備し、子育てと賑わいの拠点をつくり、その後施設全体の方向性を示してから考えていく。



可児駅前拠点施設の内部イメージ図

投票所の雰囲気づくりは

Q 若い世代が一層選挙を身近に感じられるような投票所作りは。

A 爽やかな挨拶の励行などにより、明るく清潔な投票環境づくりを図っていく。親子で投票所に来ることにより選挙の大切さを知り、投票率の向上につなげたい。また今後は18歳、19歳の投票立会人についても募集をする。

ゴルフツーリズムの今後の展開は



たかき まさひろ
高木 将延

Q 本市観光ブランドデザインに示されたゴルフツーリズムについて、今後どのように展開していくのか。

A この計画はゴルフ協会関係者、ゴルフ場事業者に意見を聴きながら作成した。ゴルフ場利用税を活用し、イベント開催などを支援しながら、名古屋からのアクセスの良さや、名門コースと呼ばれる施設が多いことなど、市内ゴルフ場の魅力を情報発信し、知名度の向上につなげていきたい。特産品の活用、他の地域資源との連続性、インバウンドやジュニア育成も含め、市内での連携はもとより、関係するみなさんの参画、協働を得て進めていきたい。

ゴルフ場利用税の見直しは

Q ゴルフ場利用税交付金として約2億円の歳入があるが、来年度以降も交付されるか。

A 現行の制度のままであれば交付される。消費税との二重課税解消などの理由で廃止が危ぶまれる中、与党税制調査会において、本年度は廃止が見送られたが、来年度以降はさらに厳しい状況になると認識している。



市面積の約1割を占めるゴルフ場

食品ロス削減の取り組みは



やまだ よしひろ
山田 喜弘

Q 市民・事業者が一体となった食品ロス削減が重要である。食育・環境教育を通じた、本市の取り組みはどうか。

A 正しい食事の量や組み合わせ、望ましい食習慣、日常の食事の大切さなどを理解させ、自然の恵みや勤労の大切さを知り、感謝の気持ちを持ち、残さず食べようとする心を育てるため、学校給食を活用しながら、計画的・継続的に指導している。また、一般廃棄物処理計画で、啓発活動を行うこととし、エコクッキングの情報提供やPRなど、市民団体とともに実施している。

A 平成22年に策定し、平成24年に改定している。平成28年3月に岐阜県が災害廃棄物処理計画の見直しを行ったので、それを参考に本年度見直しを実施する予定である。なお、自治体と収集運搬事業者との連携が重要と考え、事業継続計画の策定に向け、協議を開始した。本年度中に策定予定である。

災害廃棄物処理計画の策定は

Q 災害廃棄物処理計画の現状はどうなっているか。

小学校	主食	牛乳	おかず	中学校	主食	牛乳	おかず
平成23年度	4.3%	1.5%	3.8%	平成23年度	3.0%	1.4%	2.0%
平成24年度	4.1%	1.8%	6.2%	平成24年度	3.3%	1.3%	2.8%
平成25年度	4.7%	1.6%	3.7%	平成25年度	7.0%	2.3%	4.7%
平成26年度	4.8%	1.4%	5.7%	平成26年度	1.0%	0.5%	1.0%
平成27年度	4.9%	1.9%	6.4%	平成27年度	2.5%	1.5%	2.3%

学校給食等実態調査 (岐阜県教育委員会)

本市学校給食の直近5年間の残食率

南海トラフ巨大地震への備えは



いたす ひろゆき
板津 博之

Q 岐阜市では、地震時に自力避難が困難な高齢者等の生命の安全を確保するために、耐震シェルターや防災ベッドの設置を補助しているが、本市でもこのような補助事業はできないか。

A 耐震シェルターはニーズが低いうえ、現在、安価な製品が販売されている。補助事業に必須な相当数の利用が見込まれることや、公益性も考え、本市では火災や交通遮断などを防ぐ公的な効果も期待できる建築物の耐震化を引き続き推進していきたいと考えている。

避難行動要支援者名簿の作成は

Q 災害対策基本法の改正により、市町村長は避難行動要

支援者名簿を作成しなければならぬことが定められた。本市では、平成26年9月に地域防災計画が改定されたが、名簿の作成はどうなっているか。

A 平成27年度に名簿を作成し、平成28年5月までに自治会及び関係機関へ配付を完了している。今後は1年に1回、最新情報への更新作業を行い、差しかえを行っていく予定である。



岐阜市が補助の対象としている防災ベッド

小学校英語教育の今後は



わたなべ ひとみ
渡辺 ひとみ

Q 本市小学校での英語教育事業である「かにつこ英語プログラム」の今後について問う。先行実施された南帷子小学校と春里小学校での実績と今後の展開は。

A 指定校の児童に対して、外国語活動の授業が好きかを問うアンケートを行ったところ、全国平均を大きく上回る93%の児童が「好きである」と答えた。

このように、成果があった学習活動を、今後は市内の他の学校にも広げていきたい。母親の気持ちに寄り添った支援を

Q 不安を感じる妊娠期の母親に対してどのような対応をしているか。

A 本市オリジナルの子育て



本市オリジナル英語教材

アドバイスのための冊子を作成し、配布している。またスマートフォン等で子どもの成長情報、写真、予防接種記録などを入力していただき、年齢に合った行政情報などを閲覧することができる情報発信ツール「かにつ子ナビ」を構築し、母子手帳交付時に登録を勧めている。

災害ボランティアセンターの役割



やまね かずお
山根 一男

Q 熊本地震においても、各地の災害ボランティアセンターの役割が注目された。本市において、大災害が起きたときに災害ボランティアセンター（以下ボラセン）の設置・運営はどうなるのか。

A 市の災害対策本部が、被災の状況を把握した上で、可児市社会福祉協議会に災害ボラセンの設置を要請する。開設場所の第一候補は文化創造センターである。災害ボラセンは、被災者のニーズを把握し、ボランティアとのコーディネートが目的で、その運営には災害ボランティアサポートなどの協力が必要である。また、平時から「可児市災害ボランティアネットワーク会議」などで人のつながりをつくっておくことが重要だ。

本市の農業の現状と課題

Q 農業の担い手の高齢化が進み、耕作放棄地の増加に歯止めがかからない。市としてできることはないか。

A 2015年時点で本市の農業従事者の平均は73・3歳、耕作放棄地は146・8ヘクタールとなっている。今年度、農地活用ビジョンを見直していく。



熊本市災害ボランティアセンターの様子

介護保険改正による市の 取り組み



たはら りか
田原 理香

Q 介護保険改正に基づき、国から市の事業となる総合事業に移行したが、地域で住民主体のサービスをつくっていくことは難しい。利用者の生活支援はわずかな有償も含めた「住民ボランティア」というより「しごと」とした方が、担い手として手が伸びる、また責任を持ってできるのではないか。

A 2年間の検証結果はどうだったか。年度ごとにどう総括し、展開していくのか。
A 年度ごとは、運用の一部を改良。検証は、最終年度となる今年度に行い、今後の方針を打ち出す。

A 団体への地域支え合い活動助成制度はあるが、この制度とは別に、個人に支払えるのか詰めていくところもあるので、参考とする。

地域支え愛ポイント制度の 検証は

Q 平成26年度から開始した本制度は、3年間のモデル事業として進められている。こ



要支援・要介護者数の推移 (H18～H37)

簡易耐震診断制度の新設・ 普及を



いとう けんじ
伊藤 健二

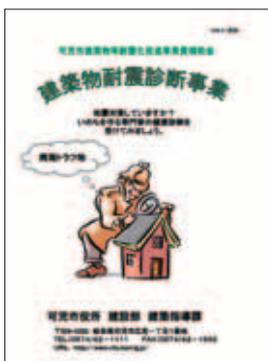
Q 熊本地震では浅い地層の揺れで多くの家屋が倒壊した。住家の耐震性をどう高めるのが、大きな関心を呼んでいる今こそ、パソコンソフトを使った木造住宅の簡易耐震診断の導入を決定してはどうか。

A 熊本地震では浅い地層の揺れで多くの家屋が倒壊した。本市地域防災計画での被害想定について、最大規模での見直しが必要ではないか、今後の予定は。
A 岐阜県からの被害想定と対策の見直し案が示された時点で対応したいと考えており、現時点では見直しの予定はない。

A 建物の耐震強度に少しでも不安を持つ市民に機会を提供するため、昭和56年6月から平成12年5月までに着工された木造住宅のパソコンによる簡易耐震診断を行うことにする。対象建築物は、階数2階以下、面積5百平方メートル以下、周知期間を考慮し実施開始は9月を予定する。

地域防災計画の被害想定見直しは

Q 全国地震動予測地図2016年版では、震度6弱以上



木造住宅耐震診断助成制度のパフレット

こんな活動をしました

行政視察報告

議会改革特別委員会

若者議会条例の取り組みをテーマに愛知県新城市を視察

議会改革特別委員会では、平成28年3月30日に、現在検討を進めている若者との条例づくりにあたり、市内高校生3人とともに、若者の力を活かすまちづくり政策の先進地である愛知県新城市の行政視察を行いました。新城市では、市長のマニフェスト「若者が活躍するまちづくり」をもとに、若者条例や若者議会条例を制定しています。準備期間1年で若者議会が始まり、初年度若者議会は、約半年で6つの事業を市長に答申しているスピード感には大変驚きました。そこには行政と若者の課題への取り組みに関わる共通認識と、若者に主体性をもって活動してもらう仕組みがあり、そこが一番のポイントになると思います。



高校生と一緒に説明を受ける委員

本市では新城市とは違い、市議会と若者が中心となって条例をつくらうとしています。若者のアイデアに対し、予算等の面で実効性に欠ける懸念が出てくると、若者のやる気を阻害してしまう恐れがあるため、そうならないような仕組みを慎重に考えていく必要があると思います。

議会改革特別委員会

平成27年第5回定例会で委員会が設置されてから、13回の委員会を開催しました。主な活動として、平成28年1月に議会アンケート、2月には地域課題懇談会や可児高校での出前講座、模擬選挙などを行いました。また3月には新城市の行政視察を行い、若い世代と作る若者条例について学びました。7月には可児商工会議所と共催の地域課題懇談会を行い、8月にはママさん議会の開催を予定するなど、次代を担う若者を中心とした市民が主体的に参加するまちづくりに向けて活動していきます。

議員定数報酬検討特別委員会

平成27年第5回定例会で委員会が設置されてから、5回の委員会を開催しました。市民に議会・議員活動を「見える化」する重要な方法として、全議員が1年をかけて活動記録をつけていくことを決めました。今後は、全議員の活動記録を平成29年1月末までに取り終わるとともに、議員定数、報酬等に関する専門的意見の聴取方法について検討していく予定です。

議会広報特別委員会

平成27年第3回定例会以降、11回の委員会を開催し、議会広報誌「議会のトビラ」を第58号から第60号まで発行しました。昨年9月にはリニューアルした議会のトビラが「地方議会人」9月号の「市町村議会広報クリニック」に取り上げられ、それまでの取り組みについて評価していただきました。

第58号からは、一般質問のページにQRコードを付けて、スマートフォン等から簡単に動画サイトに接続できるようになりました。市議会ホームページのリニューアルにも取り組み、3回の検討を経て、新ホームページが本年4月から始動しました。

1月実施の議会アンケートでは、市議会の情報を議会だよりから得ている方が、40.5%と最も多く、また、読んでいる記事は、議員の一般質問が一番多く、61.0%でした。これらのアンケート結果を踏まえ、さらに議会での審議内容をわかりやすくお伝えできるよう掲載した議会だよりにしていくために、一丸となって今後も調査研究を続けていく決意です。

議会報告会を開催しました

可児市議会では、5月に「議員と語ろう」と題して議会報告会を開催しました。議会報告会は、議会の活動を知っていただき、意見交換を通じて頂いたご意見を、これからの議会活動に活かすことを目的としています。

今回は、平牧公民館、広見公民館ゆとりピア、春里公民館、土田公民館の4会場で開催しました。各会場では、参加された市民が4グループに分かれ、それぞれに議員が2名加わり行いました。今回も名城大学の学生を含め、4会場で84名の参加がありました。

前回に引き続き、それぞれのグループごとで議員が、議会広報紙「議会のトビラ」を使い、平成28年3月議会で可決、成立した平成28年度予算の審議内容および平成26年度決算認定の際に平成28年度予算編成に活かすよう行った提言が、どのように

予算編成に反映されたかなどについて説明しました。これらのご意見をもとに意見交換を進めました。頂いた多くの意見の中から一部をご紹介します。

①議会活動について

・議会が積極的に、高校生、若者に関わろうとしているのがすごい。

・議員の能力向上はとても重要なことと考える。

・議会の見える化を進めているがまだまだ市民には見えてこな



議員の説明に耳を傾ける参加者

い。

②防災について

・防災についてさらに考えて欲しい。特にご近所防災の充実を図るべきである。

・豪雨の場合など避難するのは雨が降り始めてからでは遅い。

市民一人一人が自分で避難するための計画策定を進めるべきである。降雨量等市民への事前情報の発信方法を検討すること。

③自治会について

・地域の担い手となる若者が少ない。今後どうしていったら良いか。

・自治会加入がなかなか進まない地域だが、各自治会は努力している。加入促進策をどう打ち出していくか、行政の協力が欲しい。

・自治会加入の低下に対して、自治会参加のメリットを打ち出してみてはどうか。



広見公民館のエントランスで実施

④高齢化対策について

・要支援1・2に対する対策が市民に見えてこない不安がある。どう進むかを施設介護から在宅介護への道筋を示してほしい。

・待ったなしの超高齢化に具体的、積極的対策を。

・高齢化が進み地域の活性化に希望が持てなくならないよう「高齢者の安気づくり」を推進する行政として、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに本気で取り組んでいただきたい。

その他、多くの分野にわたり、多数のご意見やご提案などを頂きました。今回頂いたご意見は、所管委員会に振り分け、今後も協議をしていくこととしました。また、皆様方から議会や議員活動についてもご意見を頂いています。7月に講師を招き、「質問力を高め、議会力に活かす」と題して、研修会を開催しました。これからも資質の向上に努めていきます。

なお、議会報告会終了後、参加者の方々のアンケートを集計



土田公民館会場の様子



活発な意見交換が行われた春里公民館会場

したところ、男性が圧倒的に多く、年代は60歳代が3割以上を占めていました。こうしたことを踏まえ、今後は若い世代や女性に働きかけ、幅広い層の市民に参加していただけるよう進めていきます。

各会場とも活発な意見交換がなされ、数多くの貴重な意見を頂きましたことに、感謝申し上げますとともに、今後の議会活動に活かしていきます。

議場コンサートを開催しました

可児市議会では、平成28年6月23日に、初めての試みとして議場コンサートを開催しました。ふだんあまり足を踏み入れることのない議場において、市民に気軽に参加いただける催しを行うことで、親しみのある議会を目指すために行ったものです。

当日は、事前申し込みをいただいた方など約100名の皆さまに、新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる木管5重奏を楽しんでいただきました。フルート、オーボエ、ファゴット、クラリネット、ホルンによる5重奏で、バラ議会にちなんで、シューベルトの「のばら」を含む6曲を演奏していただきました。

ご来場の皆さまからのアンケートでは、「近い距離ですばら

しい音楽を聞くことができ感動しました」や「議会が身近に感じられるようになりました」等の感想をお寄せいただきました。



バラの花を飾った議場でのコンサート

議長交際費と政務活動費

平成27年度議長交際費を公表

議長交際費とは、議長が議会を代表し対外的な活動をするために支出する経費です。

なお、議長公務の内容は、ホームページやフェイスブック等で公開しています。

区分	件数(件)	支出額(円)
慶 祝	0	0
見 舞	0	0
弔 慰	7	67,400
会 費	22	165,000
協賛・賛助	0	0
そ の 他	0	0
計	29	232,400

平成27年度政務活動費の使い道を公表

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市議会議員には1人当たり年額24万円が各会派または会派に属さない議員へ交付されます。各会派等は、収支報告書に1円から領収書を添付し、議長に報告しています。また、残額は市に返還しています。なお、領収書などは、議会ホームページまたは議会事務局で閲覧することができます。

(改選前 H27.4~H27.7)

会派名または議員名	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残額(円)
誠 颯 会	8	640,000	634,745	5,255
自 民 ク ラ ブ	2	160,000	22,797	137,203
可 児 市 議 会 公 明 党	2	160,000	38,086	121,914
日 本 共 産 党 可 児 市 議 団	2	160,000	104,027	55,973
新 当 ク ラ ブ	2	160,000	0	160,000
小 川 富 貴	1	80,000	0	80,000
山 根 一 男	1	80,000	83,311	0
勝 野 正 規	1	0	0	0
計	19	1,440,000	882,966	560,345

(改選後 H27.8~H28.3)

会派名または議員名	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残額(円)
誠 颯 会	10	1,600,000	1,621,836	0
自 由 民 主 ク ラ ブ	2	320,000	33,598	286,402
日 本 共 産 党 可 児 市 議 団	2	320,000	121,946	198,054
新 当 ク ラ ブ	2	320,000	183,994	136,006
可 児 市 議 会 公 明 党	2	320,000	247,206	72,794
新 輝 ク ラ ブ	2	320,000	95,150	224,850
山 根 一 男	1	160,000	160,908	0
渡 辺 仁 美	1	160,000	166,553	0
計	22	3,520,000	2,631,191	918,106

議会レポート



このコーナーでは、議会が本会議以外で行っているさまざまな活動を、写真で報告していきます。



▲行政視察対応

(5月11日)

平成26年度から、可児市議会への他市町村議会からの視察が増加しています。議会改革や議会広報に対する内容で、今年度も6月30日時点で10市町となりました。

写真は沖縄県名護市議会の視察の様子です。



▲永年勤続表彰

(6月3日)

全国市議会議長会から林則夫議員が35年以上、富田牧子議員が20年以上、中村悟議員が10年以上で永年勤続表彰を受賞しました。

▼建設市民委員会勉強会

(5月14日)

文化創造センターalaにおいて、建設市民委員を中心とした、10名の議員で、委員会の課題としてきた「自治会」に関する勉強会を開催しました。講師には、自治会長研修会で講演をされた川北秀人氏をお招きし、意見交換を行いました。



▼感謝状受賞

(6月3日)

川合敏己議長と川上文浩議員が、全国市議会議長会から評議員としての功績が認められ、感謝状を受賞しました。



第4回定例会のお知らせ

8月

30日 開会日（議案説明）

30日 予算決算委員会
31日

9月

6日
7日 一般質問・質疑
8日

9日
12日 予算決算委員会
21日

14日 総務企画委員会
15日 建設市民委員会
16日 教育福祉委員会

28日 閉会日（委員長報告・討論・採決）

会議は午前9時開会の予定です。

日程は、都合により変更となる場合もあります。

地域のかがやき 地域の笑顔

兼山／郷土かるた大会



「可成寺は金山城主の菩提寺」「はい！」

今渡／おやじ塾



みたけ華ずし作りに挑戦！



チョット おじゃまします

※今回は、勝野正規議員と渡辺仁美議員が、姫治天文クラブの方々に、お話を伺ってきました。

広報委員：クラブ設立の目的は。

梅田さん：姫治公民館が建設された際に天文台が併設されたため、もともといた天文愛好家が集まり、星の素晴らしさを皆さんに体感していただくことを目的に、本格的にクラブを立ち上げました。

広報委員：クラブはいつ頃、設立されましたか。

梅田さん：平成元年頃に設立しました。

広報委員：会員は何人ですか。

梅田さん：現在は5人です。

広報委員：会員になるにはどの様にすれば良いですか。

佐藤さん：夜空に輝く星が好きの方ならどなたでも構いませんので、姫治公民館までご連絡ください。お待ちしております。

広報委員：今後の抱負をお聞かせ下さい。

佐藤さん：子ども会をはじめ、各公民館等で希望があれば、出向いて観望会を実施し、一人でも多くの方々に、木星や土星をはじめ、夜空に輝く満天の星の素晴らしさを体験していただきたく思っています。

取材を終えて

夜空には肉眼で見ることができない星がたくさんあり、多くの方々に専門の天体望遠鏡で観ていただき、その素晴らしさを体感してもらいたいという姫治天文クラブの方々の熱意が伝わってきました。

